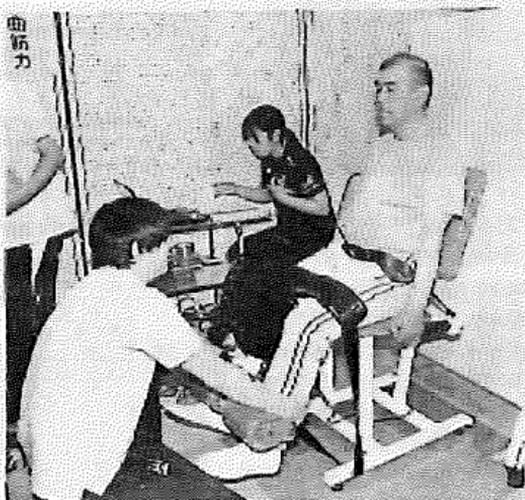


疾患リスク予測へ 住民ら600項目検査

岩木健康増進
12年目始まる

弘前大学が弘前市、県総合健康センターとともに同市岩木地区で取り組む「岩木健康増進プロジェクト」の健康調査が28日、同市岩木文化センターあそべーるなどで始まった。参加した住民たちが600項目にわたる詳細な検査を受けた。



参加者を行う体力測定

同プロジェクトは今年で12年目。脳の様子、腸内細菌、運動能力など健診で得

る膨大な調査データを解析し、生活習慣病や認知症などの総合的な疾患リスクの予測につながるのが目的。今回から新たに腰椎MRI（磁気共鳴画像装置）や嗅覚検査などを取り入れた。

早朝から調査会場を訪れた参加者は、筋力や歩行速度などを確認する体力測定、血液検査、MRI検査、骨密度測定などを受けた。今回は6月6日までの10日間で、事前に申し込んだ同地区の住民約千人が受診する予定。

弘前大学院医学研究科の中路重之教授は「検査結果を基に、参加者自らが勉強して病気予防のために行動していくことが大事」と意義を語った。（尾坂拓哉）